

平成 28 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 河内長野市社会福祉協議会

平成28年度 社会福祉法人 河内長野市社会福祉協議会

1. 地域福祉活動の推進	P 3
2. 福祉教育の推進	P 5
3. 在宅生活の支援	P 9
4. 共同募金運動による財源確保および地域支援	P 13
5. 福祉団体支援事業	P 13
6. 災害ボランティアセンター運営事業	P 13
7. 在宅福祉事業	P 17
8. 『市町 diary』を活用した多目的事業	P 19
9. 市立福祉センター「錦溪苑」管理運営事業	P 20
10. 市立障がい者福祉センター「あかみね」デイサービス事業	P 28
11. 市立障がい者福祉センター「あかみね」生活介護事業	P 32
12. 障がい者生活支援事業（ピアセンターかわちながの）	P 34
13. 障がい者就労支援事業	P 38
14. 法人運営事業	P 39

## 事業報告書

急速に進行する少子高齢化や核家族化の影響を受け、高齢者や子どもの貧困、家庭や地域で支え合い助け合う力の低下などにより、孤立死やひきこもりなどの社会的孤立、子どもや高齢者の虐待などの痛ましい事象が顕在化している。

河内長野市社会福祉協議会(以下、「社協」という。)では、第2次地域福祉活動計画「かわちながの つながり・支えあい推進プラン」に基づき、いわゆる「2025年問題」に向け、地域包括ケアシステムの構築が本格化するなか、従来からの福祉課題である「生活困窮」の他に、既存の福祉制度等の狭間から生じる「社会的孤立」等の課題に対応するため、河内長野市から受託した「高齢者生活支援体制整備事業」に基づき、生活支援コーディネーターを配置し、生活支援を行なう担い手の発掘・養成、新たな活動の創出など、高齢者を支えあう地域づくりに取り組んだ。

地域では、「だれもが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」の理念のもと、地区(校区)福祉委員会(以下、「福祉委員会」という。)を基盤に、小地域ネットワーク活動の広がりや地域福祉を担う人材の養成や住民の地域福祉に対する意識の向上を図る啓発活動を通じ、「人づくりによるまちづくり」を積極的に推進した。同時に、地域住民の参加と協力を得て、ふれあいサロン、見守り・声かけ、子育て支援など、地域に根ざした事業活動を展開した。

新たに事業展開した『市町 diary』における活動は、地域の居場所づくりの支援、高齢者の介護予防事業を支援する場として、その役割を発揮するとともに、社協が新たな地域福祉課題に取り組む第一歩としてスタートを切った。

併せて、在宅福祉事業では、介護保険制度改正に伴い、生活支援サービスの基盤整備が大きなテーマとなっており、平成29年度から導入されている「介護予防・日常生活総合支援事業」に対応するため、多様な生活支援サービスの担い手の養成など制度改革に備えた対応、準備を進めた。

昨年4月に発生した熊本地震においては、被災地への職員派遣や、災害登録ボランティア、福祉施設連絡会や近隣市町村社協の協力を得て災害ボランティアワゴンの運行など、被災地への効果的な支援活動を行なった。また、近年は自然災害が多発しており、万一の災害時に的確に対応できるよう、河南ブロック社協職員による災害時の速やかな初動体制への移行と円滑な災害ボランティアセンター運営に関わる訓練を行なった。

次に、市立福祉センター「錦溪苑」および市立障がい者福祉センター「あかみね」では、平成28年度から5年間の第3次指定管理業務を獲得し、社協の強みを活かし、アンケート調査を実施するなど、個々の利用者に寄り添い、満足度を高める事業を展開している。

また、障がい者就労支援事業では、就労支援事業所の経営安定化のための統合を図るなど、効果的な事業所運営に努め、障がい者の就労支援に主体的に取り組み、障がい者の就労の場の充実に努めた。

社会福祉法の改正など、社協を取り巻く環境は益々厳しくなっているが、社会福祉法人の公益性の向上に寄与するため、ガバナンスの強化、組織運営の透明性の確保や財務規律の確立に努めるとともに、地域の人々が共に生き、支えあっていることを実感できる社会の仕組みづくりをめざし、平成28年度は以下のような事業を展開した。

## 1. 地域福祉活動の推進

### (1) 福祉委員会委員長連絡会の開催

各地域での福祉委員会活動における諸問題の抽出、解決や情報交換による福祉委員会の発展を目的に定例会議を開催した。

### (2) 「小地域ネットワーク活動」の展開と支援

要援護者が孤立することなく地域で安心して暮らすことができるよう、福祉委員会による地域福祉活動を支援した。

#### ①個別援助活動

- ・要援護高齢者などを対象に見守り声かけ訪問活動、配食サービス活動を行った。

#### ②グループ援助活動

- ・要援護高齢者などを対象にいきいきサロン活動、ふれあい食事サービス活動、地域リハビリ活動を行った。
- ・小中学生と高齢者を対象に世代間交流活動を行った。
- ・子育て中の親子を対象に子育てサロンなど子育て支援活動を行った。

#### ③その他

- ・福祉委員の学習会および研修会の実施
- ・広報紙の作成および配布
- ・連絡調整など

### (3) 高齢者生活支援体制整備事業の推進

多様な日常生活上の支援体制の充実と高齢者の社会参加促進を一体的に図ることを目的に、市域全体をエリアとする第一層に、また日常生活圏域（概ね中学校区域等）をエリアとする第二層に、それぞれ「生活支援コーディネーター」を配置、ならびに「協議体」を設置し、以下の取り組みを実施した。

#### ①社会資源マップの構築による可視化

平成27年度から地域包括支援センターやCSWより提供された情報に基づきデータベースを作成、マイクロソフトアクセスで検索できるシステムを完成させ、地域包括支援センターと情報を共有した。

#### ②地縁組織等多様な主体への協力依頼などの働きかけ

- ・地区（校区）福祉委員会委員長連絡会ならびに各福祉委員会役員会にて、生活支援コーディネーターの役割等説明。
- ・市民公益活動センターと連携し、「ボランティア入門講座」の開催を支援。
- ・「続けよう！みんなの活動 南河内のつどい」世話人会に参画し、「第7回 南河内市民公益活動団体・市民交流会～続けよう！みんなの活動 南河内のつどい～」の開催に協力。
- ・地域ケア会議へ参加。（年6回）
- ・社協だよりに掲載。（7月1日号、1月1日号）
- ・ささえあいの活動の活動者や関心の高い人を対象に「つどいの場」を開催。

#### ③関係者とのネットワーク化

- ・生活支援コーディネーター担当者会議を開催し、いきいき高齢・福祉課、自治協働課、地域包括センター等と情報共有した。（年9回）

④生活支援の担い手の養成やサービスの開発

- ・生活支援の基盤づくりに取り組んだ。

⑤ニーズとサービスのマッチング

第2層生活支援コーディネーターが地域で展開し、次のささえあい活動に関わった。

- ・ 荘園町（えん）
- ・ 高向小学校区福祉委員会下高向地区サロン
- ・ ごはんや day
- ・ げんきや day
- ・ 美加の台小学校区福祉委員会及びまちづくり協議会の生活支援の仕組みづくり

⑥研修等への参加

実施日	研修内容
6月15日 6月29日	東成区東中本地域の支え合い活動（東中本公園集会所） 特定非営利活動法人フェリスモンテ（大阪市旭区） 特定非営利活動法人みんなの元気塾（京都府精華町）
7月11日	大阪府生活支援コーディネーター養成研修
10月11日	大阪府生活支援コーディネーター勉強会
12月13日	生活支援コーディネーターフォローアップ研修
3月1日	助け合い推進パートナー情報交換会
3月16日	社協らしい地域包括ケア推進に向けた生活支援サービス等の開発・実施

（４）活動拠点の確保

福祉委員会活動を推進するうえで、公共施設や民間施設など会場確保にかかる会場費の助成を行い活動拠点の確保に努めた。

助成した地区（校区）数	主な活動	開催回数	助成した金額（円）
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例会</li> <li>・ 研修会</li> <li>・ サロン</li> <li>・ 元気アップ教室</li> <li>・ デイサービス</li> <li>・ 懇談会</li> <li>・ ふれあい喫茶</li> </ul>	306	162,000

（５）地域福祉活動の支援

①福祉レクリエーション用品の貸出し

- ・ 地域住民の交流の場づくりを支援することを目的に、「開運お手玉ボード」「フリースタイルわなげ」「思い出カルタ」など62種類の用品の中から、延べ89のグループ（団体）へ278点の貸出しを行い地域福祉活動に活用された。

②軽トラックの貸出し

- ・ 福祉委員会活動の利便性を図るため、軽トラックの貸出しを行った。

(単位：件)

	平成28年度	平成27年度
福祉委員会	17	24

(6) 施設連絡会との連携

施設と社協が連携し、被災地支援、また、福祉委員会、民生委員児童委員協議会による施設見学や施設でのサロンの開催などを行った。

開催日	場 所	内容など
6月9日	熊本県熊本市	熊本地震被災者支援への協賛および職員派遣（みなと寮・社協）
6月28日	ワークメイト聖徳園	施設見学：民生委員児童委員協議会（千代田西地区研修）
2月22日	寿里苑	施設見学：民生委員児童委員協議会（高齢者部会委員研修）
2月23日	ワークメイト聖徳園 障がい者支援施設あまの園	施設見学：民生委員児童委員協議会（障がい者部会委員研修）
3月26日	寿里苑加賀田デイサービスセンター	ふれあい交流会：加賀田小学校区福祉委員会

## 2. 福祉教育の推進

(1) ボランティア活動の推進

ボランティア活動推進事業では、多様なボランティア・市民活動への参加促進と活動支援を実施し、併せて、活動を継続的に支える福祉人材の養成に努めた。

①ボランティア相談の実施と活動コーディネート

(単位：件)

内 容	平成28年度	平成27年度
活動希望などボランティアに関する相談	73	123
ボランティア紹介（派遣）	63	64

②研修・学びの場づくり

研 修 名（内容）	講 師	参加人数	開催日・場所
福祉ボランティアスタート講座 （ボランティア体験プログラム事前オリエンテーション）	社協職員	6	7月～9月 社協
ボランティア体験プログラム （市内の高齢者、障がい者、児童などを対象としている14の福祉施設から受入の協力）	各施設職員	12	7月～9月 各施設

広報紙作成講座 (取材や写真撮影、編集技術など、効果的な広報紙を作成する技術の習得)	元産経新聞社論説員 谷口 峰敏	18	9月23日(金) 福祉センター
河内長野市ボランティア連絡会交流会 (ボランティアグループ間交流会)	各ボランティアグループ	20	11月22日(火) キッチンくすくす
傾聴ボランティア交流会 (傾聴ボランティア活動者を対象に開催)	社協職員	39	6月10日(金) 10月7日(金) 12月9日(金) 3月10日(金) 福祉センター

### ③ボランティア活動への支援

- ・河内長野市ボランティア連絡会、大阪府市町村ボランティア連絡会活動への支援
- ・登録ボランティアへの活動支援(ボランティア保険加入料の助成など)
- ・ボランティアセンターの効果的な利用のための調整などを、河内長野市ボランティア連絡会と協働で行った。

### ④社協登録ボランティア(グループ、個人)一覧

名称など	代表者名	人数		活動対象など
		平成28年度	平成27年度	
<b>【登録グループ】</b>				
音訳サークル「あい」	中谷 雅世	29	31	視覚障がい者および高齢者／福祉学習に参画
手話サークル「さくらんぼ」	高見 薫	26	26	聴覚障がい者／福祉学習に参画
さざんかの会	—	9	13	女性
手話サークル「てのひら」	奥埜 富美子	27	32	聴覚障がい者／福祉学習に参画
河内長野点訳サークル	岸本 美奈子	15	15	視覚障がい者／福祉学習に参画
パレアナグループ	中畔 美代子	9	10	施設内高齢者／福祉学習に参画
要約筆記サークル「葉月」	大田垣 重行	8	14	聴覚障がい者／福祉学習に参画
かわちながの 字幕サークル	津田 展志	10	8	聴覚障がい者
ハロービューティー	富永 房子	8	9	ロータスクーポンなどの整理
大正琴クラブ乙女会	在木 澄子	12	12	施設内高齢者・障がい者、いきいきサロン参加者など
すみれ会	大野 フジ子	15	15	施設内高齢者・障がい者、いきいきサロン参加者など
傾聴ラブハンド	平野 和世	16	17	施設内高齢者の傾聴(ハンドマッサージ)
合 計		184	202	
<b>【個人登録者】</b>				
福祉ボランティア		82	75	傾聴、福祉レクリエーション、余興、剪定など

⑤ボランティア活動総合補償制度の受付

保 険 種 別	プラン等	平成28年度		平成27年度	
		加入者数 (人)	加入料 (円)	加入者数 (人)	加入料 (円)
ボランティア保険	Aプラン	557	167,100	539	161,700
	Bプラン	867	433,500	871	435,500
	Cプラン	17	10,200	24	14,400
	Cプラン 大規模 災害特例	39	23,400	1	600
ボランティア・市民活動行事 保険	A区分	18,875	566,250	18,454	553,620
	B区分	339	45,426	335	44,890
	C区分	0	0	0	0
	1泊2日	382	86,714	441	100,107
	2泊3日	140	39,060	138	38,502
	3泊4日	0	0	0	0
	4泊5日	0	0	0	0
	5泊6日	0	0	0	0
移送中事故傷害保険	I型	0	0	0	0
	II型	0	0	0	0
非営利・有償活動団体保険	Aプラン	18	88,200	18	88,200
	Bプラン	0	0	0	0
合 計		21,234	1,459,850	20,821	1,437,519

(2) 学校との連携

市内小・中学校などに対して、当事者団体や登録ボランティアの参画を得て「福祉学習プログラム」を作成し、講話や体験の指導・助言を行う「福祉学習サポーター」の紹介や備品の貸出しを行った。

①福祉学習サポーター

- ・当事者団体など 河内長野市視覚障害者福祉会  
河内長野市身体障害者福祉会・聴言部会  
河内長野市作業所連絡協議会  
認知症キャラバンメイト
- ・ボランティア パレアナグループ、手話サークルてのひら、  
河内長野点訳サークル、手話サークルさくらんぼ  
個人登録福祉学習サポーター

②必要備品の貸出し:車いす、アイマスク、点字器

③調整・紹介実績数:23件

④福祉学習サポーター活動実績

福祉学習プログラム名など ( )内は内容	紹 介 先
講話と車いす介助体験を通して伝えたいこと	高向小5年生、南花台小5年生、加賀田小5年生、楠小5年生



(講話と車いす介助体験)	※車いすの貸出しも行った。
車いす利用者の講話	石仏小4年生、南花台小5年生
視覚障がいの理解のために (講話と視覚障がい者ガイドヘルプ・アイマスク体験)	高向小4年生、楠小5年生 ※アイマスクの貸出しも行った。
視覚障がいの理解のために (講話)	川上小全学年、石仏小4年生
視覚障がいの理解のために (点訳体験)	長野小4年生、川上小4年生、南花台小4年生、加賀田小4年生、天野小4年生 ※点字器の貸出しも行った。
聴覚障がいの理解のために (講話と手話体験)	小山田小5年生、高向小3年生、千代田中3年生、石仏小4年生、天野小3年生
認知症キッズサポーター養成講座(講話)	小山田小5年生、加賀田小6年生、南花台中2年生

### (3) 地域福祉啓発事業の実施

①講師を各地区(校区)に派遣し、身近な場所で「学び、考える場」を設け、住民主体の地域福祉活動の必要性を周知するとともに、身近にある福祉課題に向き合える機会を提供した。

地区(校区)数	回数	参加人数	主 な テ ー マ
9	11	997	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の福祉活動</li> <li>・元気に笑って百まで生きよう！健康長寿</li> <li>・子どもから高齢者まで豊かに暮らせる福祉のまちづくり</li> <li>・豊かな老後の創造について</li> <li>・いつまでも元気に歩くためにしておくべきこと</li> <li>・あなたも私も百歳目指して「食」から始める健康長寿 など</li> </ul>

②自分達の生活や周りの人たちに興味を持っていただけるように広く市民に周知し、身近にある福祉課題に関心をもてるよう福祉講座および講演会を実施した。

研修・講座名	講 師	参加人数	開 催 日 ・ 場 所
防犯教室	大阪府警本部 生活安全班	41	4月26日(火) 福祉センター
レクリエーション介護士講座(※1)	BBC(株)スマイルカンパニー 玉城梨恵氏	20	9月2日(金) 9月9日(金) 福祉センター
整理収納セミナー①	中村ナオミ氏 柴村真弓氏	18	11月25日(金) 子ども・子育て総合センター
整理収納セミナー②	Smile 上石政代氏	9	12月6日(火) 子ども・子育て総合センター

(※1) 施設連絡会と共催事業

#### (4) 福祉委員等パワーアップ事業の実施

①福祉委員を対象に、福祉委員活動の役割と必要性に対する理解を深め、人材の育成に努めた。

研修・講座名	講師	参加人数	開催日・場所
食品衛生講習会	富田林保健所	32	5月13日(金) 福祉センター
新任福祉委員研修会	大阪教育大学 新崎国広氏	128	6月18日(土) 6月20日(月) 市民交流センター
福祉委員交流会	大阪府レクリエーション協会 堅本盛行氏	79	7月26日(火) 市民交流センター
福祉委員長研修	関西学院大学 牧里每治氏 他	19	1月21日(土) おかざき市民会館
子育て支援者交流会 (※2)	—	33	3月24日(金) 子ども・子育て総合センター

(※2) 子ども子育て総合支援センター「あいっく」と共催

②福祉委員会やボランティア、市民活動団体による地域の交流の場づくりを支援し、社協の貸出し用福祉レクリエーション用品を使用することにより場の雰囲気なごませ、グループ援助活動が効果的に実施されることを目的に、福祉レクリエーション講習会を実施した。

講座名	講師	参加人数		開催日・場所
		平成28年度	平成27年度	
雰囲気づくりとかんたんゲーム講習会	(財)大阪府レクリエーション協会 堅本盛行氏 梶本智子氏 上瀧美恵子氏	93	64	5月18日(水) 2月3日(金) 市民交流センター 6月17日(金) 6月22日(水) 6月29日(水) 7月8日(金) 7月13日(水) 7月22日(金) 福祉センター

### 3. 在宅生活の支援

#### (1) 地域相談支援員の配置

身近な福祉の相談窓口として、下記の6拠点に専門資格を有した相談員(CSW)を配置し、個別の相談対応や福祉委員会、民生委員児童委員協議会などの事業や会議に参加し、地域の福祉(生活)課題の把握に努めるとともに、随時適切な情報を提供し、課題解決のために必要な地域との連携強化を図った。

また、個人の課題やニーズを普遍的なものとして捉え、分析・集積することで地域

課題の解決へつなげる地域支援活動として、中途障がい者当事者の会「ゆっくりいっぽの会」、や難病当事者・家族の会「コンパス河内長野」の活動支援を行った。

さらに、社会的孤立を防ぐ仕組みづくりとして、地域住民の「居場所づくり」の立ち上げ支援に取り組んだ。

①CSW配置場所（いきいきネット相談支援センター）：あやたホール内、くすのかホール内、天野公民館内、加賀田公民館内、千代田公民館内、三日市公民館内

②相談状況 (単位：件)

対 象 者		平成28年度	平成27年度
高齢者	ひとり暮らし高齢者	289	544
	高齢者のみ世帯	276	296
	その他	244	379
障がい者	身体障がい者	128	170
	知的障がい者	13	8
	精神障がい者	395	810
子育て世帯（子ども）		216	97
ひとり親家庭		10	45
外国人		31	26
その他	民生委員児童委員	37	64
	福祉委員	40	48
	福祉関連事業所	11	21
	医療機関	1	0
	公的機関	20	12
	市担当課	7	11
	その他	204	300
合 計		1,922	2,831

(単位：件)

相 談 内 容		平成28年度	平成27年度
福祉制度に関すること		72	84
介護に関すること		306	469
子育て・子どもの教育に関すること		184	139
健康や医療に関すること		245	286
DV(ドメスティックバイオレンス)に関すること		4	12
生活費に関すること		137	264
住宅に関すること		55	174
地域活動、ボランティアに関すること		81	118
ホームレスに関すること		0	3
その他	権利擁護に関すること	51	89
	社会保険に関すること	6	6
	就労に関すること	25	26
	社会福祉関係税制に関すること	3	1
	その他	753	1,160
合 計		1,922	2,831

(2) 日常生活自立支援事業（あんしんサポートサービス）

市内在住の認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで判断能力が不十分な方に対して、福祉サービスの利用援助サービス、日常的金銭管理サービス、通帳や証書類・印鑑などの預かりサービスなどを行い、地域での安心した自立生活をサポートした。特に生活課題を多く抱える利用者への支援については、ケースカンファレンスを開催することで他機関と連携した支援につなげた。

	平成28年度	平成27年度
契約件数	37	39
新規契約者数	4	9
契約者への訪問延べ回数	792	821
相談件数	1,418	1,598
事業問い合わせ件数	2	3
(内訳) 認知症高齢者	2	2
(内訳) 知的障がい者	0	0
(内訳) 精神障がい者	0	1
(内訳) その他	0	0

(3) 生活福祉資金貸付事業

低所得者、高齢者、障がい者世帯や生計中心者の失業により生計の維持が困難になった世帯への、経済的自立および生活意欲の助長促進、在宅福祉の支援および社会参加の促進を図るため、各種資金の貸付けを民生委員の協力を得て実施した。

資金種別	平成28年度			平成27年度		
	相談件数	貸付件数	貸付金額(円)	相談件数	貸付件数	貸付金額(円)
大阪府生活福祉資金	278	31	18,472,000	167	20	8,461,000
総合支援資金	39	0	0	33	4	1,503,000
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	0	0
小口生活資金	90	6	600,000	54	5	378,000
長期生活支援資金	13	0	0	2	1	12,810,000
合計	420	37	19,072,000	256	30	23,152,000

(4) 生活困窮者家計相談支援事業

生活に困窮している人を対象に、課題がより複雑化・困難化する前に相談に応じ、自立した生活が送れるように支援した。

	平成28年度	平成27年度
相談件数	2	—

(5) 心配ごと相談所の開設

民生委員児童委員協議会地区委員長を相談員として委嘱し、月2回定期的に実施した。市民が気軽に来所し、あらゆる悩みごとや心配ごと相談ができる相談所として実施し、適切な支援および助言やCSWとも連携し、専門機関の紹介などを行った。

また、河内長野市主催の「くらしの総合相談（年2回）」にも相談員を派遣し、市民からの相談に応じた。

	平成28年度	平成27年度
相談件数	15	16
開設日数	26	26

相談内容表

相談事項	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健・衛生	医療	精神保健	人権・法律	財産	事故	児童福祉・母子保健	教育・青少年	障がい者(児)福祉	母子福祉・父子福祉	高齢者福祉	苦情	その他	合計
件数	2	0	1	0	3	0	0	1	1	1	2	2	0	0	0	0	0	2	2	3	20

(6) 福祉車両および車いすの貸出し

①スロープ付き自動車の貸出し

- ・市内在住で移動が困難な高齢者や障がい者などを抱える世帯を対象に、通院、レクリエーションでの外出時の支援を行うため、スロープ付き自動車の貸出しを行った。

	平成28年度	平成27年度
貸出件数(件)	5	12
走行距離(km)	300	637
内容	通院1件・外出4件	通院1件・外出11件

②車いすの貸出し

- ・市民を対象に在宅福祉の向上、日常生活を支援するため、車いすの貸出しを行うとともに福祉教育の一環として市内小・中学校へも貸出しを行った。また、下記の団体、市民より車いすを5台寄贈いただいた。
- ・寄贈(団体): 第一生命労働組合大阪南営業職支部 1台  
(個人): 匿名(2名) 4台

(単位：件)

機 器	平成28年度	平成27年度
車いす（自走用）	46	46
車いす（介助用）	84	80
介護用ベッド	11	12
合 計	141	138

※介護用ベッドについては新規貸出しを終了。

#### 4. 共同募金運動による財源確保および地域支援

共同募金運動は地域福祉推進のための財源として、大きな役割を担っていることから各関係機関および団体の協力を受け、役職員が一丸となって募金運動を展開した。

また、昨年に引き続き、子どもたちへの共同募金運動の周知・協力依頼のためにドラえもんの募金箱を資材として準備、街頭募金運動実施の際に配布した。

(単位：円)

募 金 種 別	平成28年度	平成27年度
戸 別 募 金	2,652,803	2,651,394
法 人 募 金	1,164,280	1,271,839
バ ッ ジ 募 金	731,000	723,500
学 校 募 金	392,924	337,626
街 頭 募 金	162,954	179,600
募金箱 募 金	249,323	245,512
その他 募 金	5,116	9,124
合 計	5,358,400	5,418,595

#### 5. 福祉団体支援事業

民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、保護司会、更生保護女性会、身体障害者福祉会、遺族会、原爆被害者の会、母子福祉会、心身障害児・者父母の会、日赤河内長野市地区、赤十字奉仕団、献血推進協議会の支援事業を行った。特に、今年度は、河内ブロック赤十字奉仕団連絡協議会の幹事市（事務局）として支援を行った。

#### 6. 災害ボランティアセンター運営事業

##### (1) マニュアルを使った災害VCの設置・運営訓練

①平成27年3月26日に締結した、「災害に対する河内長野市と河内長野市社会福祉協議会の相互支援に関する協定書」に基づき、市内で災害が発生するとその被害状況や住民ニーズに応じて、早期に災害ボランティアセンター（以下、「災害VC」という。）の設置運営が必要とされることから、昨年度に引き続きその整備を行った。

また、大阪府社協と共催で開催した、「eコミュニティ・プラットフォームを活用した災害時情報発信訓練」へネット環境を活用して参加し、住民ニーズに即応できる体

制づくりに努めた。

開催日時：平成29年3月30日（木）

開催場所：社協事務所内

参加者：地域福祉課・企画総務課職員

訓練内容：大阪府社協で行われている訓練の時系列に沿って、ニーズの入力及び必要書類の準備、優先順位の協議、ボランティア登録の入力

②大阪府社協および国立研究開発法人防災科学技術研究所、河南ブロック市町村社協と連携し、eコミュニティ・プラットフォームを活用した、災害ボランティアセンターポータルサイトの導入に向け、河南ブロック市町村社協職員を対象に、「eコミュニティ・プラットフォームを活用した災害時情報発信訓練」を行った。

また、河内長野市災害ボランティアセンター運営支援キットを使用した情報発信について、その内容や発信内容・方法について、共有および検証を行った。

開催日時：平成29年3月30日（木）

開催場所：大阪府社会福祉会館

参加者：大阪府・河内長野市・河南ブロック社協職員、国立研究開発法人防災科学技術研究所、FEEL Do

訓練内容：  
・被災地における情報の発信と共有、eコミュニティ・プラットフォーム活用事例紹介  
・社協として必要な災害時情報訓練  
・河内長野市災害VC運営キットの活用方法の紹介

## （2）災害ボランティアの登録および育成

### ①災害ボランティアの登録状況

（単位：人数）

	H28年度	H27年度	活 動 内 容 な ど
災害ボランティア登録者数※(H24年1月より登録開始)	55	46	被災地での災害ボランティア活動および平時のスキルアップ

### ②災害ボランティアの育成

研 修 名	主 催	参加人数	開 催 日 ・ 場 所
災害ボランティアコーディネーター研修会	大阪府社会福祉協議会	1	12月22日（木） 大阪赤十字会館

（3）災害ボランティア活動用資機材の募集および整備を行うとともに、保管倉庫の整理を行い保管場所の確保を行った。

（4）ソーシャルネットワーキングサービスを活用し、災害VCや災害ボランティア活動に関する情報提供を行った。

①ツイッター（<https://twitter.com/ksyakyousaigaiv>）

②フェイスブック（<https://www.facebook.com/kawachinaganosisaigaivc>）

（5）市地域防災総合訓練（平成28年11月6日開催）に参加し災害VCに関する市民への周知・啓発を行った。

(6) 被災地への災害ボランティア活動及び実地研修

全国各地で発生した災害に対し、災害ボランティア活動及び実地研修を行うとともに、大阪府社協および被災地社協と連携し被災地復旧復興支援活動を行った。

①平成28年熊本地震への対応

月 日	内 容
5月16日	熊本県大津町社協への軽トラック貸出し開始。大津町災害VCでの瓦礫の撤去・運搬に活用
5月22日 ～26日	熊本県大津町（大津町災害VC）へ本会職員（大阪府社協登録災害VC運営支援者）を派遣し被災地支援活動を行った
6月9日～ 6月11日	熊本県熊本市（熊本市災害VC東区サテライト）へボランティアワゴン運行
6月15日～ 6月19日	熊本県大津町（大津町災害VC）へ本会職員を派遣し被災地支援活動を行った
10月13日	熊本県大津町社協への軽トラック貸出し終了

②吹田市社協主催の『「高校生防災セミナー」第2回目東日本大震災被災地視察・交流バスツアー』に参加

月 日	内 容
7月27日	・南三陸町社協にて講話、視察 ・県立志津川高校生徒会との交流
7月28日	・岩沼市玉浦西地区にて講話、交流 ・千年希望の丘にて講話、視察、ボランティア活動 ・岩沼市寺島公会堂にて講話、交流、避難所体験

③平成28年鳥取中部地震への対応

月 日	内 容
11月5日 11月6日	大阪府社協主催の「鳥取県中部を震源とする地震に対する社協職員ボランティア募集」へ参加し、鳥取県倉吉市（倉吉市災害VC）にてボランティア活動を行った
11月12日～ 11月13日	鳥取県倉吉市（倉吉市災害VC）へボランティアワゴン運行

(7) おおさか災害支援ネットワークへの参加

おおさか災害支援ネットワーク（以下、「OSN」という。）とは、災害時に効果的な連携を果たすために、「お互いを知ることからはじめよう」を合言葉に集まった災害時に何らかの支援活動を行う各種団体のネットワークのことをいい、平成26年7月9日開催のネットワーク会議から今年度で9回目の開催となり、社協ではOSNに参画し平時から各種団体との繋がりを図った。

ネットワーク会議への参加状況

月 日	開催場所	会 議 の 内 容
7月7日	大阪府立大学 I-site なんば	第7回大阪災害支援ネットワーク会議 テーマ「プレゼン大会」 ・参画団体の活動紹介 ・参加団体からの情報提供など
10月26日	おおさか パルコープ	第8回大阪災害支援ネットワーク会議 ・実践報告「県境を越えた支え合い～竹田ベース



		キャンプの取り組み～ ・グループワーク「近隣のまちが被災した際に、あなたの団体はどう動く？」
2月16日	大阪府庁新別館南館	第9回大阪災害支援ネットワーク会議 ・避難所について ・実践事例報告「熊本地震における避難所運営と地域連携」について ・避難所運営等を想定したクロスロードゲーム

(8) 大阪府内社協間災害V C運営支援者連絡会への参加状況

月 日	内 容
11月5日～ 11月6日	大阪府社協主催の「鳥取県中部を震源とする地震に対する社協職員ボランティア募集」へ参加し、鳥取県倉吉市（倉吉市災害V C）にて運営支援及び被災者ニーズへの対応を行った。

(9) 大阪府内社協災害担当職員会議への参加状況

月 日	開催場所	会 議 の 内 容
6月20日	大阪府社会福祉指導センター	災害ボランティア交流会、災害担当職員会議、近畿ブロック派遣振り返り報告会
12月9日	阪南市立文化センター（サラダホール）	市町村社協連合会泉州ブロック研修会 ・災害時にも活きる、平時の見守り活動の重要性について ・実践報告「阪南市山中溪におけるeコミュニティ・プラットフォームを活用した地域福祉」 ・宮城県における福祉・防災学習の実践から学ぶ

(10) 市災害対策本部初動対応訓練（平成29年1月17日開催）へ参加し、災害発生時の連携について訓練および確認を行った。

(11) 河内長野・産官民連携による地域防災連携推進に向けた勉強会に参画

河内長野市、河内長野ガス（株）、社協、るーぷらぎ、長野小学校区まちづくり協議会で構成される勉強会に参画するとともに、防災まちづくり講座「地域で助け合う災害弱者支援講座」および「災害ボランティア講習会」を担当した。

(12) その他

- ①株式会社ドコモCS関西の各販売店が取引している、企業や法人を対象とした「災害対策セミナー」に参加（平成28年8月25日実施）
- ②河内長野市自主防災協議会 防災の日・防災講演会に参加（平成28年9月1日）
- ③美加の台学園祭における「防災」に関する各種ブースの1ブースを担当し、小中学生を対象に「災害ボランティア」について説明を行った（平成28年9月10日実施）
- ④認定NPO法人ゆめ風基金主催講演会・パネルディスカッション「大規模災害 いっつまで続く 取り残される障害者～障害者の避難、避難生活を円滑に進めるにはどうすればよいか？～」に参加（平成28年10月9日）

## 7. 在宅福祉事業

平成29年度からスタートする総合事業について、介護予防訪問介護相当サービス事業や訪問型サービスA事業の実施に向けた準備を進めた。また、介護人材確保や地域福祉の担い手を育成する目的で、介護職員初任者研修課程を開催した。

### (1) 居宅介護支援事業

介護保険制度により、要介護者、要支援者が介護サービスなどを適切に利用できるよう支援計画の作成に努めた。また、有効期間満了などの要支援・要介護者に対し要介護等認定調査業務の受託業務を実施した。

#### ① 居宅介護支援事業 (単位：件)

認定区分	平成28年度	平成27年度	前年度対比
要介護者	1,527	1,460	67

#### ② 介護予防支援事業 (単位：件)

認定区分	平成28年度	平成27年度	前年度対比
要支援者	652	593	59

#### ③ 要介護等認定調査 (単位：件)

市町村名	平成28年度	平成27年度	前年度対比
河内長野市	296	259	37
他市町村	12	22	-10
合計	308	281	27

### (2) 訪問介護事業

介護保険制度により、要介護者、要支援者からの依頼により訪問介護計画、介護予防訪問介護計画に基づき訪問介護員を派遣した。

#### ① 訪問介護事業

平成28年度		平成27年度		前年度対比	
回数	時間数	回数	時間数	回数	時間数
16,014	15,459:40	16,266	17,248:10	-252	-1,788:30

#### ② 介護予防訪問介護事業

平成28年度		平成27年度		前年度対比	
回数	時間数	回数	時間数	回数	時間数
6,718	6,654:15	6,813	6,775:10	-95	-120:55

#### ③ 通院等乗降介助

平成28年度	平成27年度	前年度対比
回数	回数	回数
73	414	-341

### (3) 障がい児・者支援事業

障がい児・者が居宅や外出支援のサービスを適切に利用できるよう各計画に基づき従業者を派遣した。また、サービス等利用計画の作成を実施した。

① 居宅介護事業

平成 28 年度		平成 27 年度		前年度対比	
回 数	時間数	回 数	時間数	回 数	時間数
14,785	21,454:15	17,031	24,107:00	-2,246	-2,652:45

② 同行援護事業

平成 28 年度		平成 27 年度		前年度対比	
回 数	時間数	回 数	時間数	回 数	時間数
2,453	11,353:30	2,816	12,731:00	-363	-1,377:30

③ 重度訪問介護事業

平成 28 年度		平成 27 年度		前年度対比	
時間数		時間数		時間数	
1,051:30		1,145:30		-94:00	

④ 地域生活支援事業（移動支援）

平成 28 年度		平成 27 年度		前年度対比	
回 数	時間数	回 数	時間数	回 数	時間数
4,892	21,533:00	4,412	19,385:00	480	2,148:00

⑤ 行動援護事業

平成 28 年度		平成 27 年度		前年度対比	
回 数	時間数	回 数	時間数	回 数	時間数
76	235:00	92	292:30	-16	-57:30

⑥ サービス等利用計画

(単位：件)

	平成 28 年度	平成 27 年度	前年度対比
新規支援計画	137	154	-17
継続支援計画	124	123	1
合 計	261	277	-16

(4) その他の事業

①生活応援サービス（制度外サービス）

通院の待ち時間の介助など、各種制度では対応できない利用者の要望に対して、実費の事業としてサービス提供を行った。

平成 28 年度		平成 27 年度		前年度対比	
回 数	時間数	回 数	時間数	回 数	時間数
589	475:05	853	616:40	-264	-141:35

②生活援助事業

日常生活上の支援を必要とする高齢者の家庭を訪問し、買物、調理などの家事援助を行った。

(単位：時間)

家事援助	平成 28 年度	平成 27 年度	前年度対比
	28	9	19

### ③福祉有償運送事業

単独では公共交通機関の利用が困難な要介護者、身体障がい者に対して、通院などの外出援助を行った。

(単位：回)

平成 28 年度	平成 27 年度	前年度対比
96	94	2

## (5) 独自の取り組み

### ①研修会実績

開催日・場所	テーマ
6月10日 ノバティーホール	・ 接遇について ・ 利用者のプライバシー保護について ・ 緊急時の対応と事故発生防止について
10月18日 ノバティーホール	・ 講演会「心に寄り添うバリデーション」 ・ 感染症、食中毒予防と対策
3月17日 ノバティーホール	・ 雇用契約更新について ・ 総合事業について

### ②勉強会実績

開催日・場所	テーマ
6月24日 福祉センター	・ 認知症とケアについて
7月13日 市民交流センター「食工房」	・ 調理実習（ホームヘルパー）
11月14日 「市町 diary」	・ 調理実習（利用者の皆さんといっしょに）

③ 年2回、情報紙「華」を発刊。（7月・1月）

④ 利用者アンケート調査を実施。（8月）

⑤ 介護サービス情報公表の実施。（10月）

⑥ 同行援護従事者養成講習・全身性養成講習への職員講師派遣を実施。  
（大阪千代田短期大学へ）

⑦ 各種研修会を受講し、職員のスキルアップに努めた。

⑧ 毎月1回、市立福祉センターにおいて「福祉なんでも相談」を実施。

⑨ 法令遵守のため、定期的な自主点検・自己評価を実施。

⑩ 介護職員初任者研修を実施。（8名受講）

## 8. 『市町 diary』を活用した多目的事業

「市町 diary」（河内長野市市町634番地）を活用し、子どもから高齢者まで利用できる「ふれあい」「世代間交流」「生きがい」などの居場所づくりとなる住民主体型の事業展開を支援した。また、介護人材育成や地域福祉推進の担い手を育成する目的で介護職員初任者研修など、研修の場として活用した。

### ①「ごはんや day」

子どもから高齢者まで地域の幅広い年代が参加し、食事づくりや会食を通じて世代間交流や地域連携強化を図った。

(12月11日・1月28日・2月11日・3月31日)

②「げんきや day」

高齢者が中心となり、認知症予防や介護予防を目的とした健康体操を開催した。

(10月より第2・第4金曜日 9:30~12:30)

③研修事業

社協ホームヘルパーのスキルアップや、新たな福祉の担い手を育成する場としての研修会を開催した。

・介護技術講習会(おむつ交換、ベットから車椅子への移乗) 4月24日

・介護職員初任者研修課程 8月開講 130時間

④その他

地域福祉推進を目的として、地域で活動している団体と協働で次の事業を開催した。

・地域の小学生を対象に夏休みの学習の場

・子どもの日中の居場所や、支援者の集いの場

・発達障がい児の親の交流の場。

・子育て支援事業

## 9. 市立福祉センター「錦溪苑」管理運営事業

福祉センター(以下、「センター」という。)は、趣味のクラブ活動や教養講座、レクリエーション、入浴、貸室の利用など、日中の居場所や活動拠点、憩いの場として、1日200人を超える方々が利用されており、利用者が日々安全で安心して気持ちよく利用できるよう管理運営を行った。

また、様々な利用者ニーズに適応した事業を展開するため、事業毎のアンケート調査や、指定管理者の対応をも含めた管理運営全般に対するアンケート調査を実施するとともに、モニタリングによる自己評価の実施や、有識者や当事者団体、地域の代表者で組織される「福祉センター運営委員会」を開催し、その意見を反映しサービスの向上を図った。

さらに、本会の強みであるボランティアコーディネート力を発揮し、利用者による施設ボランティア活動に取り組むとともに、河内長野市でも多発している高齢者詐欺について、河内長野警察署と協働で防犯教室を開催した。併せて、地域の団体にも参加協力をさせていただき、防止を啓発し、推進した。

また、利用者が新しいことへチャレンジする企画として、スマートフォンの初心者教室を実施するとともに、スマホ等携帯電話で多発している犯罪の防止教室も開催した。

一方、福祉センターの機能をより有効に活用するため、老人クラブ連合会や母子福祉会の事務局として活動を支援した。

### ①施設利用状況

(単位：人)

月	開館日	利用者数			
		男	女	計	1日平均
4月	25	3,144	2,621	5,765	231
5月	23	2,667	2,179	4,846	211
6月	26	3,204	2,449	5,653	217
7月	26	3,035	2,303	5,338	205
8月	25	2,778	2,002	4,780	191

9月	24	2,835	2,274	5,109	213
10月	25	2,719	2,217	4,936	197
11月	24	2,772	2,361	5,133	214
12月	22	2,806	2,432	5,238	238
1月	22	2,001	1,859	3,860	175
2月	23	3,064	2,378	5,442	237
3月	26	3,253	2,440	5,693	219
平成28年度合計	291	34,278	27,515	61,793	212
平成27年度合計	296	37,270	30,006	67,276	227

②浴場利用状況

(単位：人)

月	開設日	利用者数			
		男	女	計	1日平均
4月	25	1,615	1,043	2,658	106
5月	23	1,436	931	2,367	103
6月	26	1,679	954	2,633	101
7月	26	1,570	945	2,515	97
8月	25	1,496	830	2,326	93
9月	24	1,390	795	2,185	91
10月	25	1,524	909	2,433	97
11月	24	1,581	1,025	2,606	109
12月	22	1,492	970	2,462	112
1月	7	472	321	793	113
2月	23	1,590	1,038	2,628	114
3月	26	1,806	1,037	2,843	109
平成28年度合計	276	17,651	10,798	28,449	103
平成27年度合計	296	19,096	12,108	31,204	105

※1月は浴槽漏水修繕工事を実施。

(1) 高齢者の生きがづくり

生涯学習および教養の向上を図るため、利用者のニーズに添った講座を開催するとともに、センターで過ごす時間が利用者の生きがいとなるよう下記の事業を実施した。

講座開催状況

(単位：人)

平成28年度			平成27年度		
講座名	参加人数	実施期間	講座名	参加人数	実施期間
陶芸教室	15	4/9～6/11	陶芸教室	14	4/9～6/11
健康運動教室	10	4/7～9/29	健康運動教室	10	4/2～9/24
	10	10/6～3/30		10	10/15～3/24
はじめてのスマートフォンセミナー	43	7/26.28 11/24.29	マジックショー	108	8/29

水彩色鉛筆講座	10	1/18～3/15	水彩色鉛筆講座	10	10/7～3/16
囲碁将棋大会	27	1/31	囲碁将棋大会	39	1/29
カラオケ発表会	151	2/18	カラオケ発表会	150	2/20
ロビーコンサート	87	7/2	ロビーコンサート	65	7/25
フラダンス教室	11	10/5～12/3	フラダンス教室	15	10/2～12/5
			教養講座	48	2/26
合 計	364		合計	469	

## (2) 健康増進および相談事業の実施

理学療法士・看護師による健康運動教室、血圧測定、機能回復維持訓練を行うとともに医師やケアマネジャー、CSWによる福祉なんでも相談を実施した。

### ①機能回復維持訓練の実施

疾病・負傷により心身の機能低下を招いている利用者の機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるために、理学療法士および看護師による訓練指導を実施した。

#### 機能回復維持訓練実施状況

(単位：人)

性別 月	平成28年度			平成27年度		
	男	女	計	男	女	計
4月	2	17	19	15	29	44
5月	2	17	19	3	14	17
6月	3	29	32	6	13	19
7月	3	24	27	6	14	20
8月	0	23	23	5	13	18
9月	0	22	22	4	16	20
10月	2	25	27	2	24	26
11月	3	14	17	1	19	20
12月	2	22	24	0	13	13
1月	3	21	24	0	22	22
2月	3	20	23	0	12	12
3月	3	27	30	0	20	20
合計	26	261	287	42	209	251

### ②血圧測定の実施

利用者の健康に対する不安を解消するため、看護師による血圧測定を月2回(第2・4金曜日)実施した。

#### 血圧測定実施状況

(単位：人)

月	平成28年度			平成27年度		
	男	女	計	男	女	計
4月	9	20	29	10	16	26

5月	8	20	28	12	22	34
6月	10	14	24	7	20	27
7月	10	13	23	16	15	31
8月	7	12	19	7	15	22
9月	9	8	17	9	18	27
10月	11	14	25	10	23	33
11月	6	8	14	9	20	29
12月	3	4	7	5	13	18
1月	3	11	14	8	16	24
2月	9	5	14	6	19	25
3月	13	10	23	8	16	24
合計	98	139	237	107	213	320

### ③福祉なんでも相談の実施

利用者の健康や困りごとなど生活全般に対する不安を解消するため、ケアマネジャー、CSW、医師による福祉なんでも相談を月1回第4木曜日に実施した。

#### 福祉なんでも相談実施状況

(単位：人)

性別 月	平成28年度			平成27年度		
	男	女	計	男	女	計
4月	1	1	2	0	0	0
5月	1	2	3	2	2	4
6月	1	1	2	3	0	3
7月	1	1	2	0	1	1
8月	0	2	2	0	0	0
9月	3	1	4	2	3	5
10月	2	0	2	0	1	1
11月	0	1	1	1	1	2
12月	2	0	2	0	0	0
1月	1	1	2	1	1	2
2月	1	1	2	0	1	1
3月	1	1	1	0	1	1
合計	14	11	25	9	11	20

### (3) 自主活動の拠点づくり

センタークラブが自主活動として、活発に活動できるよう支援を行うとともに、新規利用者や加入希望者への紹介を行った。また、各センタークラブの紹介ポスターを館内に掲示し活動をPRした。

さらに、年々増加傾向にある、センタークラブ以外の10人以上で構成する各種団体・グループ・サークル・同好会に対し活動の場を提供した。

#### センタークラブ活動状況

(単位：人)

クラブ名	活動日	活動場所	会員数
あみもの	第1・3(金)	サークル1	13
生け花(すずらん会)	第2・4(火)	サークル2	10



生け花（清蘭クラブ）	第 2・4（火）	福寿の間	休部
押し絵・ちりめん小物	第 1・3（木）	サークル 1	休部
カラオケ歌謡会	第 3（水）	菊の間	16
カラオケ平成会	第 2（土）	菊の間	17
カラオケみちづれ	第 3（金）	菊の間	13
茶道（裏千家）	第 1・3（木）	洗心亭	4
茶道（表千家）	第 2・4（火）	洗心亭	休部
詩吟クラブ	第 1・3（水）	サークル 1	13
書道	第 2・4（土）	サークル 2	21
水彩画クラブ	第 2・4（水）	サークル 3	18
水墨画（午前）	第 1・3（木）	サークル 2	14
水墨画（午後）	第 1・3（木）	サークル 2	11
スワングダンスクラブ	第 1・3（土）	サークル 2	16
太極拳	第 2・4（木）	サークル 2	19
大正琴	第 2・4（火）	大広間	16
民踊錦溪会	第 2・4（土）	楠の間・福寿の間	10
手描き友禅	第 2・4（金）	サークル 1	8
陶芸クラブ 1※	第 1・3（木）	サークル 3	9
陶芸クラブ 2※	第 1・3（金）	サークル 3	15
ヨガクラブ	第 2・4（火）	訓練室	17
レザークラフト	第 1・3（金）	サークル 2	3
レッツダンス	第 1・3（水）	サークル 2	12
民舞クラブ	第 1・3（木）	第 1 楠/福寿・第 3 大広間	休部
雪椿新舞踊クラブ	第 1・3（火）	福寿の間	休部

※陶芸クラブは、初心者教室の参加者が教室終了後、クラブとして最長 2 年間のみ活動している。

#### （４）新規事業の企画と実施

利用者へのアンケート調査を基に、利用者が新しいことへチャレンジする企画として、「はじめてのスマートフォンセミナー」と題してスマートフォンの初心者教室を実施するとともに、スマホ等携帯電話で多発している犯罪の防止教室も開催した。

特に、スマホの初心者教室については、利用者の要望により第 2 回目を実施した。

#### （５）情報の提供

①ホームページの更新（<http://business4.plala.or.jp/kinkeien/>）

毎月ホームページを更新し、広報啓発に努めた。

②広報紙「錦溪苑だより」の発行

２ヶ月に一度、福祉センターの事業内容や予定を掲載した広報紙「錦溪苑だより」を発行し情報提供を行うとともに、市役所および各公民館、民間福祉施設など市内各所に設置し利用者の拡大に努めた。

（発行部数 1 回：2, 000 部）

③日常生活における情報提供

高齢者など要援護者に対する詐欺が増加していることから、利用者以外にも当事者団体である老人クラブ連合会や友愛訪問などを行っている民生委員児童委員協議会や

地区（校区）福祉委員会にも参加を呼びかけ「防犯教室」を行った。

また、教養講座として、社協在宅福祉課と協働で「認知症 正しく理解、正しく予防」と題して講座を開催した。

さらに、近年増加している携帯電話を使った詐欺の予防として「スマホ・ケータイ安全教室」を開催した。

研修・講座名	参加人数	開催日
防犯教室	59	4月26日
教養講座「認知症 正しく理解、正しく予防」	15	6月24日
教養講座「スマホ・ケータイ安全教室」	29	2月7日

#### （6）入浴設備の衛生管理の徹底

社会福祉施設におけるレジオネラ症防止対策（厚生労働省通知）を遵守するとともに、保健衛生管理・安全対策として水質維持・管理を図るため、浴場関連設備および貯湯槽の清掃・洗浄、1日4回の塩素濃度検査による塩素消毒の徹底を行い、利用者の衛生管理に努め、平成28年度は保健所の立入り検査が実施されたが、適切に管理されているとの評価を得た。

#### （7）送迎バスの運行

利用者の利便性を確保するため、市内巡回・単位老人クラブ・市内主要駅（河内長野・千代田・三日市町・美加の台の4駅）への送迎バスを運行した。

#### 市内巡回送迎バス利用状況

（単位：人）

曜日		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H28 合計	H27 合計
第1・3火	千代田東	4	2	9	4	4	3	7	7	7	3	6	3	59	53
	千代田西	37	13	30	14	26	25	28	32	25	23	33	21	307	255
第1・3木	天野・旭ヶ丘	6	4	5	7	16	6	9	3	6	4	4	4	74	134
	青葉台・加賀田	20	16	20	28	30	41	40	21	33	15	42	32	338	225
第1・3土	川上・楠台	8	8	15	10	7	9	11	15	16	7	16	11	133	64
	南ヶ丘・南花台	43	38	29	26	37	33	37	34	43	18	31	33	402	418
第2・4火	小山田・緑ヶ丘	13	13	15	9	12	10	6	10	9	2	12	16	127	123
	荘園・寺ヶ池	21	14	12	15	16	19	11	21	20	12	28	26	215	103
	楠翠台・向野町	1	3	0	3	4	5	1	3	5	0	5	6	36	33
第2・4木	高向・滝畑	17	19	16	23	12	8	23	27	27	16	9	23	220	169
	長野・楠ヶ丘	21	20	9	11	7	6	17	15	13	11	22	15	167	142
第2・4土	天見・楠台	26	13	30	23	21	25	21	23	27	13	10	26	258	319
	美加の台・清見台	23	17	11	15	12	18	15	20	17	10	5	12	175	227
合計		240	180	201	188	204	208	226	231	248	134	223	228	2,511	2,265

## 第5週バス運行実績

第1便：千代田駅～河内長野駅

第2便：美加の台駅～三日市駅

	運行回数	乗車人数
平成28年度	9	244
平成27年度	9	187

## 単位老人クラブ送迎利用状況

月	平成28年度		平成27年度	
	回数	乗車人数	回数	乗車人数
4月	4	199	3	84
5月	4	100	4	110
6月	5	170	5	201
7月	4	111	5	186
8月	4	98	4	113
9月	4	134	5	212
10月	4	110	4	114
11月	4	110	4	107
12月	3	131	5	160
1月	6	407	7	374
2月	4	107	4	97
3月	3	85	4	107
合計	49	1,762	54	1,865

## 市内主要駅送迎利用状況

(単位：人)

月	河内長野	千代田	三日市	美加の台	平成28年度合計	平成27年度合計
4月	1	136	30	34	201	160
5月	5	116	28	27	176	182
6月	3	151	34	34	222	182
7月	12	180	24	30	246	172
8月	7	141	29	39	216	164
9月	7	117	35	41	200	165
10月	4	139	27	33	203	175
11月	0	117	32	42	191	147
12月	1	122	22	39	184	173
1月	4	61	21	19	105	139
2月	5	124	22	33	184	186
3月	4	137	26	26	193	192
合計	53	1,541	330	397	2,321	2,037

## (8) 福祉センターまつりの開催

12月3日にセンタークラブの日頃の活動の成果を発表する場として、センターまつりを開催した。

事前準備では、センタークラブ員による施設ボランティア活動により、館内のスリッパの清掃を行うとともに、当日の進行が円滑に進められるように発表会の準備を行った。

当日は、センタークラブの発表や展示を中心に、マジックショーや各種団体協力のもと、模擬店、障がい者作業所の授産品販売、シルバー人材センターの手作り品販売などを行うとともに、センタークラブ以外の自主サークルにも活動発表の場を提供し、利用者相互の交流を深めた。

(9) 周知・啓発事業の開催

センターを次世代の利用者をはじめ広く市民に知っていただくことを目的に、ロビーコンサートやセンターまつりなど利用制限を解除した事業を実施した。

(10) 福祉センター運営委員会の開催

2月16日に運営委員会を開催し、有識者や当事者団体の代表、市民の代表などからの意見を取り入れるとともに運営の適正化を図った。

(11) 福祉団体の支援

市老人クラブ連合会、市母子福祉会の事務局として活動を支援するとともに、センター事業に積極的に協力をいただいた。

(12) 避難所の開設

防災・減災には事前の自主避難が有効であることから、行政と連携を図り避難所を開設し自主避難者の受入れ体制を整え、市民の安全安心に努めた。

また災害・防災・避難所の運営についての知識を高めるため、研修会に参加した。  
(平成28年度は避難所の開設はなし)

(13) 職員のスキルアップ研修会等への参加状況

月 日	開催場所	研修内容	参加人数
4月26日	大阪府社会福祉指導センター	管理職研修 ・今後の地域福祉実践のための知識 ・人材マネジメント	1名
6月7日	国際交流センター	感染症・食中毒予防対策講習会	1名
6月24日	福祉センター	認知症への理解	1名
7月4日	大阪府社会福祉会館	さまざまな人権問題に関する研修会	1名
7月26日	富田林市市民会館	安全運転管理者講習会	1名
8月18日	河内長野市役所	人権研修会	1名
1月30日	エル・おおさか	事業所のメンタルヘルス推進担当者研修会	1名

2月8日	福祉センター	救急救命講習会	1名
2月9日	大阪府庁	おおさか災害支援ネットワーク ・避難所について ・事例報告「熊本地震における避難所運営について」	1名
2月23日～ 2月24日	ビックアイ	災害時要配慮者支援講習会	1名
2月24日	福祉センター	アングーマネジメント	5名

## 10. 障がい者福祉センター「あかみね」デイサービス事業

障がい者福祉センターは、河内長野市内在住の障がい者と地域との自由な交流を通じて障がいを正しく理解していただくとともに、引き続き障がい者福祉の拠点としての役割を果たすべくセンター機能の充実に努めた。また、障がい者のニーズに応じた事業を行い、個々の状況に応じた対応や既存する教室・クラブのさらなる充実をボランティアとともに展開した。さらに、障がい児の日中活動の場の提供を通じて、課題の把握と専門家による社会的場面での困難さの改善を保護者と協同で行った。また、高齢化する障がい者等が心豊かにいきいきと活動できる体制の検討を行った。

また、「防災・避難訓練」を開催し、指定福祉避難所としての役割や障がい者や支援者の方々が日頃の備えや災害に対する認識を高めた。

### 障がい者福祉センター利用者数合計

(単位：人)

	重度	中度	軽度	小計	その他	平成28年度	平成27年度	前年度対比
クラブ・教室	2,592	2,076	763	5,431	4,374	9,805	11,002	-1,197
貸室	601	577	141	1,319	3,170	4,489	4,070	419
生活介護	2,188	892	0	3,080	41	3,121	3,562	-441
その他				1,181	301	1,482	724	651
合計				11,011	7,886	18,897	19,358	-461

(1) 機能訓練および社会適応訓練 (開催回数：268回、参加者1,904人)

#### ①機能訓練

##### ア 館内事業

各クラブ・教室を開催した。(カラオケ・料理など)

##### ・デイサービス利用者対象個別訓練

毎週火曜日、金曜日に障がい者の健康維持・機能運動・生活相談を実施し、デイサービス事業のクラブ・教室の参加者との相談や参加へとつなげた。

(登録者数28人)

#### イ 館外事業

- ・福祉センター「錦溪苑」に理学療法士を派遣し、介護予防訓練や機能回復維持訓練を実施した。
- ・心身、介護相談の実施（福祉センター「錦溪苑」で各訓練後に実施）

#### ②社会適応訓練

障がい者の社会活動への参加と自立を促進するため、個別支援事業と集団支援事業を実施した。

##### ア 個別支援事業

パソコンクラブを実施した。

##### イ 集団支援事業

カラオケ教室・クラブ、料理教室、手作りパン教室、キングホビー教室、手話サロン、エンジョイくらぶを実施した。

##### ウ その他

- ・精神障がい者対象事業

「ちょっとで」を実施した。

（花の文化園・奥河内くろまろの郷、プール、ソフトバレー、昼食作り&カラオケ）

- ・知的障がい者対象事業

音楽教室、ショートテニスクラブ、フライングディスク教室、ペアグラウンドゴルフ大会を実施した。

#### (2) 創作活動および更生訓練 (開催回数：453回、参加者3,511人)

充実した日常生活を過ごせる場を提供するとともに、喜びを実感できる創作活動および更生訓練などを通じ社会参加の促進を図り、各活動の自立化に努めた。

##### ①創作活動

トールペイント、フラワーアレンジメント、書道、創作、絵画、手織り、陶芸などのクラブ・教室を開催した。

##### ②更生訓練

障がい者の健康増進と社会参加の促進を図るため、各種相談事業・レクリエーション事業を実施した。（音楽・映画鑑賞・グラウンドゴルフ・茶道などのクラブ、教室）

#### (3) 講座・講習会の開催について (開催回数：265回、参加者3,882人)

心豊かに楽しくいきいきとした日常生活が送れるよう、講座・講習会を開催した。

##### ア 『超新星スバルファイブショー&スポーツチャンバラ体験』を開催した。

(ウィンターフェスティバル2016にて12月10日、参加者92人)

##### イ 『ボランティア講習会』を開催した。

- ・講師：大阪人間科学大学 医療心理学科教授 宮脇 稔氏

(3月8日、参加者31人)

##### ウ 『IT講習会』基礎からゆっくりワード初級講座を開催した。

(延べ、59人)

##### エ ボッチャ、大正琴、卓球、ボールエクササイズなどの教室を開催した。

(延べ、3,700人)

(4) 医療、福祉、生活相談 (開催回数：78回、参加者161人)

専門医(整形外科医・精神科医)による医療相談や看護師・理学療法士による健康・生活相談などを実施した。

①医療相談 毎月1回、専門医師の相談を実施した。

ア 整形外科医相談(偶数月) みやざき整形外科 宮崎医師

イ 精神科医相談(奇数月) 老寿サナトリウム 北畑医師

②健康・生活相談

看護師および理学療法士が健康・生活相談を月1回実施した。

③リハビリ相談

理学療法士による生活、心身、福祉用具、家族の介護等の相談を実施した。

④看護処置・看護相談

看護職員によるケガなどの応急処置や看護に関する相談を実施した。

(5) 市民啓発事業 (開催回数：12回、参加者457人)

①館内事業

各教室、クラブ、行事(団体交流事業・ウィンターフェスティバル2016)などを開催し、交流の場を提供することで、障がいに対する理解を促進した。また、各種学校などと連携し福祉教育・交流の場を提供した。

ア 中学校の職場体験

・加賀田中学校、千代田中学校より受入れた。(延べ、8人)

イ 小学校の総合学習

・小山田小学校より受入れた。(延べ、20人)

ウ 大学生の実習

・桃山学院大学より受入れた。(延べ、6人)

②館外事業

・「電車で行こう」でダスキンミュージアムを見学し、人とのふれ合いの中での障がい者に対する理解の促進や進むバリアフリー環境への体験を行った。

(10月28日、参加者4人)

③ホームページ

ホームページを定期的(毎月)に更新し、広く情報提供を行うとともに新規利用の拡大に努めた。

(6) ボランティア養成およびグループ活動支援

各既存クラブ・教室などで活動しているボランティアに施設ボランティアコーディネーターがあかみね行事への参加協力を促し、個別およびグループでの支援活動を促進した。

(7) 障がい者福祉センター運営委員会の開催

運営委員会を開催し、各委員からの意見を反映し、サービスの向上に努めるとともに運営の適正化を図った。

(8) 福祉団体の支援

①団体交流事業で各障がい者団体のPRを行った。

「第11回さあ、秋だ！“みんなおいでや”」を実施し、障がい体験コーナーなどで障がい者間の交流や市民への正しい障がい理解の場を提供した。

(9月4日、参加者343人)

②市身体障害者福祉会、市心身障害児・者父母の会の事務局として活動を支援した。

(9) その他必要な事業 (開催回数：28回、参加者348人)

①日中一時支援事業（あかみねウキウキ企画）およびSST（社会技能訓練）の実施  
夏休み中の知的障がい児童を対象にフリーボードとおにぎらず作りを行い、仲間との交流や日頃体験できないレクリエーション体験を行った。また、大阪府立大学の立山清美氏とともに作業療法相談およびSSTを開催し、障がい児の社会的場面での困難さの改善が図れるよう保護者と協同で支援を行った。

②外出事業

ア バスツアーを実施した。

・フェリー&バスで行く小豆島（香川県） (3月25日、参加者30人)

③大会参加への支援

大会などへの参加に向け、クラブ・教室で練習会を開催するとともに、参加者への意欲の高揚と支援を行った。

ア 館内事業

・グラウンドゴルフ大会 (5月16日・10月17日、延べ参加者48人)

・ペアグラウンドゴルフ大会 (5月21日・11月12日、延べ参加者83人)

・ふれあい卓球大会 (10月3日、参加者41人)

イ 館外事業

・大阪ボッチャ大会 (11月3日、参加者3人)

・ファインプラザ大阪卓球大会 (2月11日、参加者13人)

④送迎バスの運行およびタクシー補助事業

センター利用者の利便性の向上を図るため、送迎バスの効率的な運行やタクシー補助事業の実施および貸室の利用者への対応を行った。結果として、貸室での利用者数は増加したが高齢化する障がい者などの利用日数が減少したため、送迎バスの利用数が減少した。

ア 送迎バス利用者数合計 (単位：人)

	朝迎え	昼迎え	3時送り	4時送り	平成28年度	平成27年度	前年度対比
ルート送迎	504	662	944	249	2,359	2,853	-498

イ タクシー補助事業

・利用件数は、241件あった。(登録者数41人・前年度268件)

⑤虐待防止や権利擁護などについての研修に参加するとともに内部研修を実施した。

月日	開催場所	研修内容	参加人数
8月18日	河内長野市役所	市役所職員人権研修 「知っていますか？LGBT」	1名
2月9日	大阪府庁	おおさか災害支援ネットワーク ・避難所について ・事例報告「熊本地震における避難所運営について」	2名



2月24日	福祉センター	アンガーマネジメント講座（職員研修） ・怒りをうまくコントロールする手法	7名
-------	--------	---	----

## 1 1. 障がい者福祉センター「あかみね」生活介護事業

利用者の意思・人格を尊重し、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう個別支援計画を作成して、排せつおよび食事、移動の介護、創作的活動または生産活動の機会の提供、その他の便宜を適切かつ効果的に行った。さらに利用者の心身状況への対応や新たな利用者が利用するにあたっては、関係機関などとともに連携を図りながら、生活相談も含みスムーズに利用できるように支援した。

（契約者数18人）

### （1）個別支援計画の作成

利用者・保護者との三者懇談を年3回実施し、支援内容・状況を説明するとともに、新たなニーズを個別支援計画に反映した。その結果として、利用者に良質なサービス向上の提供を図ることができた。

### （2）身体などの介護

日中活動をするうえで必要な排せつ・食事・移動などの介護を行った。また、医療的ケアの必要な利用者に対し、医療的ケアの充実に努めた。

### （3）生産活動

手工芸品（巾着袋・カバン・シュシュ・にぎりんぼうなど）の作成・販売、パソコン印刷（名刺・カレンダー・年賀状の受注・納品）および喫茶コーナーの運営を行った。

①手工芸品の販売（市民サロン・「愛・いのち・平和展」・福祉センターまつりへの参加）

②内職（ごみシール封入作業）

③印刷（受注納品 名刺85件・カレンダー614冊・年賀状13件・同窓会の案内や地域のチラシの作り2件）

④喫茶（ウィンターフェスティバル2016への参加）

### （4）創作的活動

毎月、季節を感じ取れる集合作品を作成し、館内への展示を行った。また、利用者の生活に役立てるため、個人の予定などが分かるような色分けしたカレンダーを作成した。

### （5）機能訓練

嘱託医師や理学療法士の指導のもと、利用者の身体機能および日常生活能力の維持向上に努めた。また、毎週1回、看護師の指導による体操および個別機能訓練を実施した。

### （6）生活相談

生活面での向上を図るために、短期入所や移動支援などを利用していない利用者とその保護者に対して、福祉サービスの情報提供を行うことでサービスの利用につなげ

た。また、生産活動を通じて、自信を持たれた利用者は就労支援継続B型事業所へつなげることができた。

(7) 健康管理

嘱託医師の指導に基づき、看護師が脈拍・体温・体重測定などを行い身体の変化に注意し健康管理に努め、身体 of 血行改善を目的に足浴・岩盤浴などを実施した。また、来館時に手洗い・うがいを実施し、マスク着用をうながした。

(8) 訪問支援

通所などができない状況になった利用者の自宅などへ訪問し、相談・支援などを行った。

(9) 送迎サービス

送迎バスを運行し、利用者の利便性の向上を図った。

(10) 前各号に掲げる便宜に附帯する便宜

(2) から (9) に付帯する着替えおよび整容、その他日中活動上必要な介護・支援・相談・助言などを行った。

(11) その他必要な事業

① 判定会議

利用希望者のスムーズな受け入れを促進するために判定会議を開催した。

② 教室・レクリエーション

ア ボランティアの支援により、ヨガ教室を週1回開催し、利用者の健康維持増進を図ったほか、おりがみ教室を月1回実施した。

イ 軽スポーツ(ボッチャ・フライングディスクなど)、カラオケ・音楽鑑賞を週1回実施した。

ウ 利用者間の交流を深めるために「お楽しみ会」と調理実習として「おやつ作り」を実施した。

③ 職員研修 H28年度 職員のスキルアップ研修会等への参加状況

月 日	開催場所	研修内容	参加人数
6月7日	大阪国際交流センター 大ホール	感染症予防対策講習会	1名
10月9日	大阪府中央会館 大ホール	大規模災害 いつまで続く 取り残される障がい者 ・障がい者の避難、避難生活を円滑に進めるにはどうすればよいか?	1名
11月5日 12日 15日	ゆらっとステーション「支える会研修センター」	重度心身障がい児・者介護人講座 (基礎コース)	1名
2月24日	福祉センター	アンガーマネジメント講座 (職員研修) ・怒りをうまくコントロールする手法	2名

#### ④生活介護PR活動・啓発

- ア あかみねウィンターフェスティバル2016で喫茶コーナー、授産品の展示・販売、バザーを行い、生活介護事業のPRや啓発を行った。
- イ 新規利用者1人と契約した。

## 12. 障がい者生活支援事業（ピアセンターかわちながの）

河内長野市の障がい児・者および家族などの介護者が抱える課題を解決するため、福祉サービスの利用支援、社会資源の活用や社会生活力を高めるための支援、ピアカウンセリングなどを行った。また、福祉サービスを利用するにあたって必要なサービス等利用計画を作成するとともに、地域における生活を支援するため福祉機器展示会や用具における相談会を実施することで、在宅障がい者の自立と社会参加の促進を図った。

一方、相談支援事業を効果的に実施するため、自立支援協議会において、各種専門部会での活動を進めるため、研修会や事業所見学会、アンケート調査などを実施し、課題の抽出や部会の方向性を明確にするとともに専門性をより深めた。

### (1) 居宅介護・短期入所などの利用援助

居住地域における施設などの利用の相談に対して、利用可能な施設の紹介および利用援助に努めた。

- ①労継続支援B型事業所、短期入所の見学・面接の同行・支援
- ②サービス等利用計画の作成および利用者と事業所に対するサービス調整  
(サービス等利用計画 150件)
- ③ガイドブックの利用・活用支援

### (2) 社会資源を利用するための支援

福祉機器の展示会やサービス利用についての相談に応じ支援に努めた。

- ①福祉機器展の展示会の開催  
福祉用具・福祉機器展示会 3月25日(土) 参加見学者数 20人
- ②生活介護の紹介・支援
- ③デイサービスの紹介・支援

### (3) 社会生活力を高めるための支援

日常生活の問題についての相談に対して、アドバイスをを行った。

- ①生活課題のある障がい者との定期的な面談
- ②公共料金などの支払い

### (4) ピアカウンセリング

- ①当事者相談を定期的実施した。  
火曜日：聴覚障害者 水曜日：肢体不自由 木曜日：視覚障がい者
- ②ピアカウンセラー合同の相談を定期的実施した。  
5月・11月・3月 13:00~15:00
- ③日常生活および自立生活についてのアドバイスをを行った。

(5) 専門機関の紹介

相談内容により、司法書士、消費生活センターなど専門機関への紹介や情報提供を行った。

(6) 事業（イベント）および広報活動

①事業（イベント）

・ピアサロン事業の開催

視覚：視覚障がい者のための映画鑑賞・視覚障がい者入所施設見学など

肢体：料理教室、脳トレ、自助具の紹介など

②広報活動（ピアセンターのPR）

・機関紙「peer」という名称で、6月・1月に発行。また、音訳サークル「あい」の協力を得て、視覚障がい者への情報提供に努めた。

・ホームページを毎月更新し、情報発信に努めた。

(7) 障害支援区分認定調査の実施

障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービスを利用するにあたり区分認定が必要な方に対して障害支援区分認定調査を実施した。

調査件数：134件（前年度187件）

(8) 住宅入居等支援事業

地域での一人暮らしを希望する障がい者に対して、住居確保の支援や手続きなどの支援を行った。

(9) 相談支援機能強化事業

①地域自立支援協議会

全体会および運営会議、代表者会議、就労支援部会、地域生活定着支援部会、子ども部会、相談支援事業所連絡会の開催

開催場所：障がい者福祉センター「あかみね」および河内長野市役所

会議名	開催回数	内 容
全体会	1回	・相談支援センターmumの紹介 ・相談支援事業所の報告について ・就労支援部会の報告について ・講演会「障がい者地域自立支援協議会の役割等について」
運営会議	2回	・全体会について ・情報交換
就労支援部会	6回	・新規での就労継続支援B型利用について （精神障がい者・成人の障がい者向け） ・支援者向け講座の開催 「精神障がいのある方の就労支援について」 ～病気の理解をどのように支援につなげるか～ ・特例子会社・事業所見学会 ハートコープいずみ・エコロジーファーム ・各機関からの情報提供・情報交換など

地域生活定着支援部会	12回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障がい者の就労継続支援B型の新規利用について</li> <li>・入院患者へのアンケート調査の実施</li> <li>・病院訪問、研修会など</li> <li>・その他制度についての勉強会</li> <li>・事業所等紹介DVDの作成（就労継続支援A、B型、就労移行支援、生活介護、その他関係機関、日中支援など）</li> </ul>
子ども部会	4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ワーキング会議の開催 社会資源、「はーと」などについて</li> <li>・「はーと」を活用した研修会の開催 障がい児支援利用計画案の作成など</li> </ul>
相談支援事業所連絡会	1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス支給決定基準案について</li> <li>・地域生活支援拠点について</li> <li>・介護予防・日常生活支援総合事業について</li> </ul>
サービス調整会議	2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の会議の方向性</li> <li>・閉会に向けての準備</li> </ul>

②地域自立支援協議会情報交換会出席

第1回 開催日：6月29日（水）

開催場所：大阪府庁新別館南館 8階 大研修室

内 容：「地域自立支援協議会と相談支援」など

第2回 開催日：3月17日（金）

開催場所：クリスタルタワー 20階 A会議室

内 容：基幹相談支援センター職員コース・情報交換など

③南河内南地域移行推進会議出席

開催回数：1回

内 容：今年度の市町村の取り組みについてなど

④サポートブック研修・講演会出席

開催回数：6回

内 容：サポートブック「はーと」活用の実践報告についてなど

⑤ケア会議（個別支援会議等）の開催および参加（延べ81回）

関係機関との連携などが必要なケースについて、ケア会議の開催および参加

(10) 地域移行・定着支援事業

自立支援協議会の地域生活定着支援部会を定期的で開催した。

また、病院に入院している障がい者の地域移行・定着を支援するため、事業所のPR動画の作成や精神科病棟がある病院へのアンケート調査などを実施するとともに、地域移行の支給決定の方法を定めた。

（地域移行支給決定件数：2件）

(11) その他障がい者の支援に必要な事業

①学校での事業説明など

・富田林支援学校 1回

- ・ 藤井寺支援学校 1回
- ・ 南河内ブロック進路指導関係機関連絡会 2回

ピアセンターかわちながの 利用状況

(単位：件)

	障 が い 種 別												合 計
	身 体					重 症 心 身	知 的	精 神	発 達	高 次 脳 機 能	難 病	そ の 他	
	肢 体	聴 覚	視 覚	内 部	そ の 他								
H28	803	53	187	121	49	125	931	725	207	21	66	81	3,369
H27	1,349	61	132	110	4	217	1,266	1,297	217	180	62	200	5,095

(単位：件)

	支 援 方 法								合 計
	訪 問	来 所	同 行	電 話	メ ー ル	支 援 会 議	関 係 機 関	そ の 他	
H28	520	347	68	865	84	74	917	12	2,887
H27	569	384	134	1,375	124	81	1,702	23	4,392

(単位：件)

	支 援 内 容												合 計
	福祉サービスの利用など	障がいや病状理解	健康・医療	不安の解消など	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	
H28	2,112	697	342	483	74	261	71	399	435	513	26	41	5,454
H27	2,727	121	373	129	35	217	298	284	857	229	8	113	5,391

### 13. 障がい者就労支援事業

店舗型事業所を統合し、経営の安定化を図るとともに、利用者の訓練環境を整えた。

一般就労を希望する利用者に対し情報提供を行い、就労意欲の向上を図るとともに、引き続き就労継続支援A型事業所を希望する利用者への支援を行った。

また、各相談支援事業所や公共職業安定所（ハローワーク）などと連携し、実習や職場体験などの支援を行った。

さらに、連携を深めるために富田林支援・藤井寺支援学校を訪問し、事業説明やPRを行うとともに、各事業所で実習生を受け入れ新規利用の拡大を図った。

指定就労継続支援B型事業所の契約者数 (単位：人)

年 度	ファクトリーくすくす	カフェドくすくす	キッチンくすくす	L & E	合 計
28年度	12	2	3	12	29
27年度	12	6	2	13	33

指定就労継続支援B型事業所の利用者が、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、生産活動やその他の活動を通じて、知識および能力の向上に必要な訓練や支援を行った。

ファクトリーくすくすやL & Eでは、新規の企業から仕事を受注するとともに、その仕事に対応し作業工程を構築し効率化を図った。また、授産品販売のために各種イベントに積極的に参加した。

また、カフェドくすくすなど店舗型事業所では、市民まつりに参加（出店）し、PR活動を行うとともに、新規通所希望者の掘り起しを行った。

さらに、在宅にすることが多く日中活動の場がない障がい者に対して、ピアセンターかわちながのと連携し、事業所に通所できるよう情報提供などの支援を行った。

## 14. 法人運営事業

### (1) 三役会・理事会・評議員会および委員会の開催と監事監査の実施

#### ① 定例三役会の開催

事業推進の意思決定を明確、迅速に行うため正副会長・管理職員による定例会議を毎月1回開催し、社協が抱える課題を把握し解決に向け役員と事務局との意思疎通を図りながら、円滑な法人運営に努めた。

#### 三役会開催状況

会議名	年間開催数	協議事項
定例三役会	12回	当該月の事業予定・懸案事項の協議 他

#### ② 理事会の開催状況

月日	会議の名称	審議内容
5月18日	第1回	①平成27年度事業報告 ②平成27年度資金収支決算 ③平成28年度資金収支予算第1次補正予算(案) ④評議員の選任同意
7月20日	第2回 (書面審議)	①評議員の選任同意
11月29日	第3回	①定款の変更 ②評議員選任・解任委員会運営規程の制定 ③評議員選出規程の制定 ④経理規程の改正
3月1日	第4回	①評議員選任・解任委員会委員の選任
3月22日	第5回	①平成28年度資金収支予算第2次補正予算(案) ②経理規程の改正 ③平成29年度事業計画(案) ④平成29年度資金収支予算(案) ⑤評議員候補者の選任

#### ③ 評議員会の開催状況

月日	会議の名称	審議内容
5月26日	第1回	①平成27年度事業報告 ②平成27年度資金収支決算 ③平成28年度資金収支予算第1次補正予算(案) ④理事の選任
12月6日	第2回	①定款の変更 ②評議員選任・解任委員会運営規程の制定(報告) ③評議員選出規程の制定(報告) ④経理規程の改正(報告)
3月29日	第3回	①平成28年度資金収支予算第2次補正予算(案) ②平成29年度事業計画(案)



		③平成 29 年度資金収支予算（案） ④経理規程の改正（報告）
--	--	------------------------------------

④理事・評議員合同会議の開催状況

月 日	会議の名称	内 容
7 月 29 日	理事・評議員 合同会議	①平成 28 年度共同募金運動実施計画（案）

⑤委員会の開催状況

月 日	会議の名称	会 議 の 内 容
6 月 6 日	総務委員会	・社協だよりNo.106号（7月1日号）の発行
7 月 29 日	事業経営委 員会	・障がい者就労支援事業所の経営状況について
9 月 6 日	総務委員会	・社協だよりNo.107号（10月1日号）の発行
11 月 28 日	総務委員会	・社協だよりNo.108号（1月1日号）の発行

⑥監事監査の実施状況

月 日	会議の名称	内 容
5 月 12 日	平成 27 年度 監 査	①平成 27 年度事業監査 ②平成 27 年度収入支出会計監査

(2) 理事・評議員等研修の実施

月 日	会議の名称	内 容
7 月 29 日	理事・評議員 合同研修	研修内容：共同募金運動の取り組み

(3) 大阪府社協および大阪府市町村社協連合会、河南ブロック市町村社協連絡会への参加

①大阪府市町村社協連合会総会

月 日	開催場所	会 議 の 内 容
4 月 7 日	大阪社会福祉 指導センター	第 1 号議案 平成 27 年度事業報告 第 2 号議案 平成 27 年度収支決算 第 3 号議案 平成 27 年度福祉救援活動資金収支決算 監査報告 第 4 号議案 平成 28 年度事業計画（案） 第 5 号議案 平成 28 年度収支予算（案） 第 6 号議案 平成 28 年度福祉救援活動資金収支予算 （案）

②会長・事務局長合同会議への参加状況

月 日	開催場所	会 議 の 内 容
4月7日	大阪社会福祉指導センター	<p>&lt;協議事項&gt;</p> <p>①府社協事業計画</p> <p>②平成28年度府社協地域福祉部事業方針（案）</p> <p>③平成28年度年間スケジュール</p> <p>④新たな制度対応に関する社協としての行動指針</p> <p>⑤その他</p> <p>・28年度市町村社協合同顧問弁護士の確認</p>
7月7日	大阪社会福祉指導センター	<p>&lt;協議事項&gt;</p> <p>①平成29年度予算対策の取り組み 予算要望項目（案）の検討</p> <p>②熊本地震における支援活動の状況</p> <p>&lt;研修会&gt;</p> <p>◆社会福祉法人改革と社会福祉協議会が対応すべきポイントについて</p> <p>◆全社協地域福祉部 副部長 藤咲宏臣氏</p>
2月2日	大阪社会福祉指導センター	<p>&lt;協議事項&gt;</p> <p>①連合会事業について</p> <p>・平成29年度連合会事業計画（案）</p> <p>・災害関連事業の進捗と今後の展開</p> <p>②法改正への対応（アンケート結果）</p> <p>③その他</p> <p>・マッセ市民セミナー</p> <p>・市町村社協共済会補助事業の削減</p> <p>・団体役員賠償補償制度の案内</p> <p>・市町村社協合同顧問弁護士の設置</p> <p>・福祉の就職フェア広報協力依頼</p> <p>・安まち通信 等</p>

③事務局長会議への参加状況

月 日	開催場所	会 議 の 内 容
6月2日	大阪府社会福祉会館	<p>&lt;協議題・報告&gt;</p> <p>①全社協地域/ボランティアセンター担当部課長会議要旨報告</p> <p>②今年度の取り組み</p> <p>・地域貢献委員会の設置状況等/取材まとめ</p> <p>③予算対策の取り組み</p> <p>・29年度大阪府予算要望項目事前アンケートの報告</p> <p>④熊本地震に関する報告及び災害時における支援体制</p> <p>&lt;情報交換&gt;</p> <p>・市町村及び広域での災害時に備えた取り組み</p> <p>⑤その他</p> <p>・連合会会費及び福祉救援活動資金納入のお願い</p> <p>・マッセ市民セミナーの案内</p>

9月1日	大阪社会福祉指導センター	<p>&lt;依頼・報告事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府募金会依頼事項</li> <li>①平成29年度大阪府予算要望行動報告</li> <li>②社会福祉法改正にかかる情報提供</li> <li>③その他</li> <li>・府社協会費等の請求</li> <li>・新年互礼会の実施</li> <li>・福祉の就職フェア2016報告</li> <li>・熊本地震支援（職員派遣）に係る経費負担</li> </ul> <p>&lt;研修会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域づくりから始める地域包括ケアシステム</li> <li>◆大阪市立大学大学院 看護学研究科在宅看護学領域 教授 河野あゆみ氏</li> </ul>
11月10日	大阪社会福祉指導センター	<p>&lt;情報提供および依頼事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同志社大学からの調査協力依頼 等</li> </ul> <p>&lt;協議題・報告&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①社会福祉法改正にかかる情報提供</li> <li>②役員改選（H29～H30）</li> <li>③新年互礼会の実施</li> <li>④地域貢献委員会（施設連絡会）等の活動事例集作成</li> <li>⑤連合会事業（28年度後半～29年度計画の方向性）</li> </ul> <p>&lt;グループ討議&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな制度対応（生活困窮/介護保険改正）に関する社協としての行動方針を踏まえた事業進捗状況の共有</li> <li>⑥その他</li> <li>・鳥取県中部地震ボランティア活動報告</li> <li>・熊本地震支援に関する経費負担</li> <li>・合同顧問弁護士住所の変更</li> </ul>

④河南ブロック社協連絡会への参加状況

月 日	開催場所	会 議 の 内 容
6月14日	大阪狭山市立老人福祉センターさやま荘	河南ブロック担当職員会議 ・各市町村社協の現状と課題 ・河南ブロック職員研修（計画） ・運営支援者の推薦および輪番
7月13日	大阪狭山市立老人福祉センターさやま荘	会長・事務局長ブロック会議 ・府社協連絡事項 ・各社協の状況等 ・ブロック研修の実施 ・災害VC運営支援者養成研修推薦者の輪番（確認）
11月30日	大阪狭山市立老人福祉センターさやま荘	会長・事務局長・職員合同研修会 ◆改正社会福祉法制度改革に向けた準備 ◆島田会計大阪事務所 公認会計士・税理士 川嶋良典氏

3月7日	大阪狭山市立 老人福祉セン ターさやま荘	事務局長・担当職員合同会議 ・大阪府社協からの報告 ・平成28年度河南ブロック社協連絡会事業報告および決算報告 他
------	----------------------------	---

#### (4) 施設連絡会への運営支援

「河内長野市社会福祉施設連絡会」が、市内の38の施設および社協の参画のもと、地域貢献活動を行う連絡会として発足し、今年度は設立から2年目を迎え、幹事会および実務担当者会議で検討を重ね、理事・施設長研修会、施設見学等を開催し、連絡会加入施設および地域福祉活動団体との連携を強化するとともに、災害に対する取り組みとして、河内長野市との「災害発生時等における福祉避難所等の協力に関する協定」について協議・検討を行った。また、市民や関係団体に対し、社会福祉法人の地域貢献活動をわかりやすくするための、連絡会のパンフ・マップの作成について協議・検討を行った。

##### 施設連絡会の事業実績

日 時	場 所	内 容
4月15日	ふれあいの丘・ライフサポートあおぞら	平成27年度会計監査
4月21日	社会福祉協議会会議室	第1回実務担当者会議
4月21日	しょうとく園	第1回幹事会
5月31日	障がい者福祉センター	平成28年度総会・理事施設長研修会
6月24日	高向保育園	第2回幹事会
8月25日	社会福祉協議会会議室	第2回実務担当者会議
9月2日・9日	福祉センター	レクリエーション介護士養成講習会
9月27日	社会福祉協議会会議室	第3回実務担当者会議
10月24日	福祉センター	第3回幹事会

#### (5) 組織構成会員制の推進

民間企業などの事業者やボランティア団体、住民参加型団体など76の事業所や各種団体に組織構成会員に加入していただき、全体会議の場で改正社会福祉法の趣旨に即し、社協のガバナンス強化を図るため、45名の評議員候補者を選出いただいた。

##### 組織構成会員加入団体名

1	長野第1地区福祉委員会	39	市視覚障害者福祉会
2	長野第2地区福祉委員会	40	市身体障害者福祉会
3	楠小学校区福祉委員会	41	市心身障害児・者父母の会
4	三日市地区福祉委員会	42	市母子福祉会
5	千代田東地区福祉委員会	43	市遺族会
6	天野小学校区福祉委員会	44	市原爆被害者の会
7	南花台福祉委員会	45	市老人クラブ連合会
8	南花台三丁目福祉委員会	46	市作業所連絡協議会
9	小山田小学校区福祉委員会	47	精神障害者家族会
10	加賀田小学校区福祉委員会	48	市医師会
11	川上地区福祉委員会	49	市歯科医師会

12	高向小学校区福祉委員会	50	市薬剤師会
13	石仏小学校区福祉委員会	51	市青少年健全育成協議会
14	美加の台小学校区福祉委員会	52	市青少年指導員連絡協議会
15	天見地区福祉委員会	53	市PTA連絡協議会
16	市青年会議所	54	河内長野防犯協議会
17	市地域女性団体協議会	55	大阪南医療センター
18	市商工会	56	府立長野高等学校
19	市赤十字奉仕団	67	府立長野北高等学校
20	河内長野ロータリークラブ	58	清教学園中高等学校
21	河内長野東ロータリークラブ	59	千代田学園
22	河内長野ライオンズクラブ	60	市立小中学校校長会
23	大阪長野ワイズメンズクラブ	61	市民間保育園連絡協議会
24	市ボランティア連絡会	62	私立幼稚園連絡協議会
25	市人権協会	63	市献血推進協議会
26	市企業人権協議会	64	(社団) 河内長野市シルバー人材センター
27	市民生委員児童委員協議会	65	関西サイクルスポーツセンター
28	支部更生保護女性会	66	南海バス(株)河内長野営業所
29	支部保護司会	67	河内長野ガス(株)
30	(社福)みなと寮	68	河内長野公共職業安定所
31	(社福)聖徳園 ワークメイト聖徳園	69	河内長野郵便局
32	(社福)聖徳園 しょうとく園	70	府立花の文化園
33	(社福)あおぞらの会	71	市国際交流協会
34	(社福)生登福祉会	72	(有)ヒューマンリンク
35	(社福)長野社会福祉事業財団	73	大阪いずみ市民生活協同組合
36	(社福)博光福祉会	74	上谷会計事務所
37	(社福)慈恵園福祉会	75	株式会社 セルビス
38	(社福)つばさの会	76	株式会社 エム・エフ・ケイ

(6) 賛助会員制の推進

より多くの地域住民の理解と参加、財政的な支援を得て社協活動を展開するため、賛助会員を募集した。

(単位：円)

賛助会員の内訳	平成28年度	平成27年度
社協役員	55,000	61,000
社協職員	125,000	129,000
組織構成会員 ①+②	1,950,000	1,786,309
① 理事・評議員選出団体	1,938,000	1,774,309
1. 事務局団体	1,198,000	1,081,000
2. 市役所(外郭団体を含む)	438,000	437,000
3. 市立小・中学校	192,000	142,309
4. 民間保育園・幼稚園	78,000	81,000
5. 上記1~4以外の団体	32,000	33,000
② 理事・評議員選出団体以外	12,000	12,000
組織構成会員以外の法人・事業所 ①~④	450,000	385,000

①民間福祉施設	5,000	5,000
②医療施設	35,000	35,000
③関係団体	10,000	10,000
④事業所	400,000	335,000
個人登録ボランティア	34,000	10,000
福祉機器利用者	26,000	28,000
厨房機器利用者	5,000	5,000
福祉レクリエーション用品利用者	1,000	2,000
一般の個人ほか	100,000	128,000
合 計	2,746,000	2,534,309

(7) 広告料収入の増強

社協だよりやホームページに掲載する広告事業者を募集し事業収入の確保に努めた。

(8) 善意銀行

善意銀行に対し市民から金品の預託を受け、これを必要とする方々に払い出し有効利用に努めた。

善意銀行事業の内訳

預託内容

預託内容	平成28年度		平成27年度	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
一般預託金	3	180,143	1	10,000
指定預託金	6	689,816	5	645,357
合 計	9	869,959	6	655,357

※その他物品として、車いす、布ティッシュなど

払出内容

払出内容	平成28年度		平成27年度	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
指定払出金	6	689,816	5	645,357
合 計	6	689,816	5	645,357

※団体、障がい者福祉センター事業、障がい者就労支援事業、車椅子貸出し事業に払い出しを行った。

(9) 福祉基金事業

昨年度に引き続き国債の利息運用を行った。

国債運用(継続)	20年利付国債	50,000,000円
	30年利付国債	50,000,000円

平成28年度末 福祉基金原資積立残高 110,901,000円

	平成28年度		平成27年度	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
基金指定寄付金	1	1,000	0	0
諸収入(国債利息)	1	1,475,000	1	1,571,097
合計	2	1,476,000	1	1,571,097

(10) 広報啓発事業

社協事業や地域の福祉活動を多くの市民に理解していただくため、社協だよりの発行やホームページの更新により情報提供を行った。また、比較的若い世代への情報発信として、ソーシャルネットワーキングサービスを利用して情報を公開した。

①かわちながの社協だよりの発行

年3回、7月・10月・1月に発行し全戸配布。発行部数 47,900部

②ホームページ (<http://www.kawachinaganoshishakyo.or.jp/>) を随時更新した。

③社協ブログ (<http://ksyakyou.blog90.fc2.com/>) を更新し、日記調で社協事業や福祉委員会活動などの情報をタイムリーに掲載した。

④社協ツイッター (<https://twitter.com/ksyakyou>) を更新し、日々の社協の動きなどの情報を掲載した。

(11) 大阪府域介護人材確保連絡会議・南河内地域介護人材確保連絡会議への参加

急激な少子高齢化の進展の下、今後ますます増大・多様化していく福祉・介護ニーズに対応していくには、新たな介護人材を確保することは重要である。大阪府では府内市町村、社会福祉協議会、関係団体が参加し、課題の共有や今後の採用戦略など検討を行った。

また、南河内ブロックでは地域の実情にあった取り組みとして、福祉分野のイメージアップに繋がる啓発用ポスターなどを作成し、新たな介護人材の掘り起こしに努めた。

月 日	開催場所	会 議 の 内 容
4月28日	大阪社会福祉指導センター	大阪府域介護人材確保連絡会議 ・各ブロック事例発表 ・講演会「地域を支える福祉・介護人材の確保と定義」
5月25日 7月5日 12月20日 3月22日	南河内府民センター	南河内地域介護人材連絡会議 ・地域の実情にあった介護人材確保に向けた取り組みについての検討 ・イメージアップポスターの作成について